

第2章 東福寺地区（鳥羽街道エリア）道路特定事業計画

2.1 具体的なバリアフリー化対策案及び整備方法

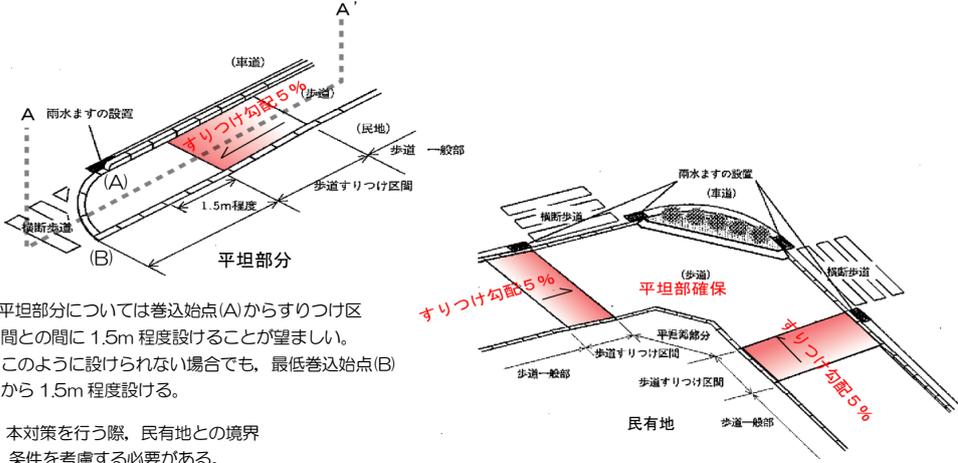
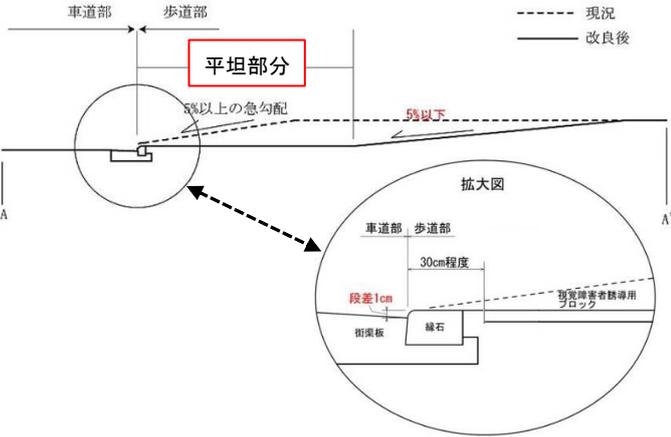
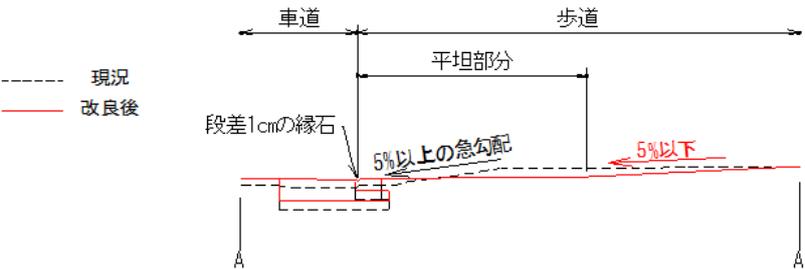
道路のバリアフリー化の道路特定事業計画の作成に当たっては、各項目の代表的な整備手法に基づいて行います。具体的なバリアフリー化対策案は、以下の表2.1に示します。

表2.1 対策案（A～F）及び整備方法の概要

対象項目	対策案・整備方法	
A：横断歩道接続部等における段差・勾配の改善	A-1	<ul style="list-style-type: none"> 横断歩道と接続する部分に平坦部を確保 すりつけのための縦断勾配を5%（8%）以下にする。 歩道と車道の段差が1cmとなる縁石を設置
	A-2	<ul style="list-style-type: none"> 歩道の私有地側に平坦部を確保 車道へのすりつけ勾配を小さくするために、歩道と車道の境界には、表面に勾配のある特殊縁石を設置
※ A-1 を適用することが困難な場合、A-2 を適用		
B：歩道一般部及び車両乗入部における段差・勾配の改善	B-1 (歩道全般)	<ul style="list-style-type: none"> 横断勾配が急な箇所を1%（2%）以下にする。
	B-2 (歩道全般)	<ul style="list-style-type: none"> 歩道内にある段差を解消し平坦にする。
	B-3 (車両乗入部)	<ul style="list-style-type: none"> 歩道の車両乗入れ部分の私有地側に平坦部を1.0m以上確保（すりつけ横断勾配は15%以下）
※ B-3 は、B-1 歩道全般の整備で、勾配の改善が困難な車両乗入部に適用		
C：視覚障害者誘導用ブロックの敷設	C	<ul style="list-style-type: none"> 視覚障害者誘導用ブロックの設置及び改良
D：歩行空間の有効幅員の確保	D-1	<ul style="list-style-type: none"> 安全走行ができる車道幅員を考慮したうえで、歩道の有効幅員（2.0m・3.5m）を確保する。
	D-2	<ul style="list-style-type: none"> 支障物（電柱、標識柱等）の撤去及び移設の検討
E：歩道のない道路における歩行空間の明確化	E	<ul style="list-style-type: none"> 路面標示（路側帯）の設置及び幅員変更 路側帯へのカラー舗装等の施工
F：歩行者の移動に影響を与えている柵蓋やグレーチング及び縁石等の道路附属物の改良	F	<ul style="list-style-type: none"> ガタついた側溝蓋の改良及び暗渠化 粗目のグレーチングを細目のグレーチング等へ改良 老朽化した縁石の改良

次頁以降に各対策案・整備方法のイメージや標準的な考え方を示します。

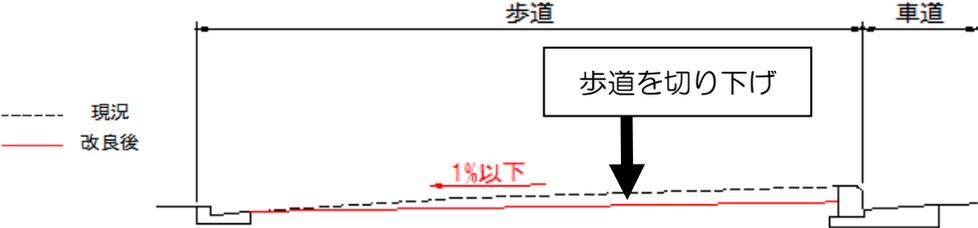
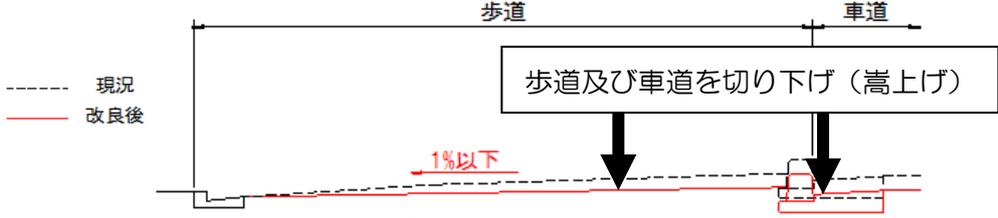
「A：横断歩道接続部等における段差・勾配の改善」に係る整備対策案

対象項目	A-1
対策案	<ul style="list-style-type: none"> 横断歩道と接続する部分に平坦部※1を確保 すりつけのための縦断勾配を5%（8%）※2以下にする。 歩道と車道の段差が1cmとなる縁石を設置 歩道内で行う上記の整備方法が困難な場合は、車道の嵩上げや切り下げの検討を行う。 <p>※1 透水性舗装の場合は横断勾配1%以下、非透水性舗装の場合は横断勾配2% ※2 ()内は、地形の状況その他特別な理由によりやむを得ない場合の特例値</p>
標準的な考え方	 <p>注) 平坦部分については巻込始点(A)からすりつけ区間の間に1.5m程度設けることが望ましい。このように設けられない場合でも、最低巻込始点(B)から1.5m程度設ける。</p> <p>注) 本対策を行う際、民有地との境界条件を考慮する必要がある。</p>
整備方法	<p>・交差点（A-A'）断面概念図 【歩道内での整備】</p>  <p>【車道の嵩上げ（切り下げ）】</p> 

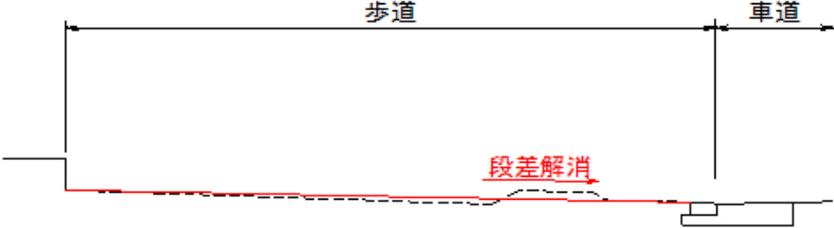
「A：横断歩道接続部等における段差・勾配の改善」に係る整備対策案

対象項目	A-2※1
対策案	<ul style="list-style-type: none"> 歩道の民有地側に平坦部※2を確保 車道へのすりつけ勾配を小さくするために、歩道と車道の境界には、表面に勾配のある特殊縁石を設置 <p>※1 A-1を適用することが困難（現況の段差・勾配が大きいうえ、民有地・車道の改良が困難）な場合には、A-2を適用</p> <p>※2 透水性舗装の場合は横断勾配1%以下、非透水性舗装の場合は横断勾配2%</p>
標準的な考え方	
整備方法	<p>• 交差点（A-A'）断面概念図</p>

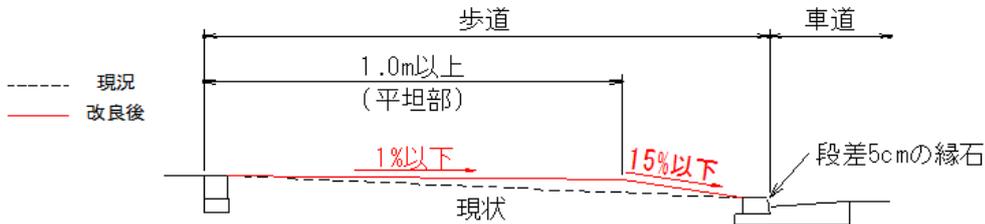
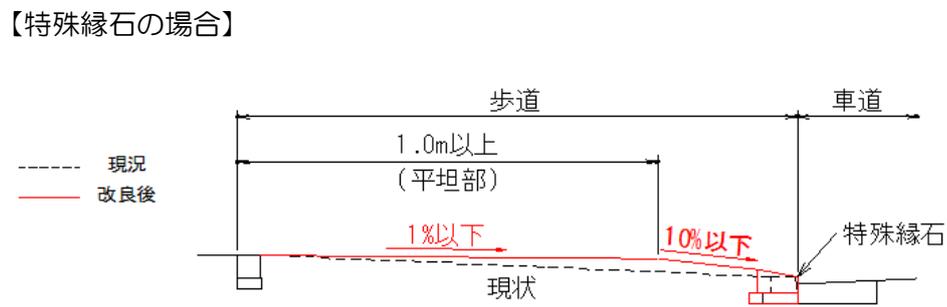
「B：歩道一般部及び車両乗入部における段差・勾配の改善」に係る整備対策案

対象項目	B-1（歩道全般）
対策案	<ul style="list-style-type: none"> 横断勾配が急な箇所を1%（2%）※1以下にする。 歩道内だけでの整備が困難な場合は、車道の切り下げや嵩上げを検討する。 <p>※1 透水性舗装の場合は、横断勾配を1%以下にし、非透水性舗装の場合は、横断勾配は2%以下にする。</p>
イメージ	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 20px;"> <p>私有地高さは 現状から変えない。</p> </div>  </div> <p style="text-align: right;">現 状 ※他地区の生活関連経路</p>
整備方法	<ul style="list-style-type: none"> 横断勾配が急な箇所における歩道の改善 【歩道の切り下げ】  <ul style="list-style-type: none"> 【歩道及び車道の切り下げ（嵩上げ）】（私有地と車道の高低差が大きい場合等） 

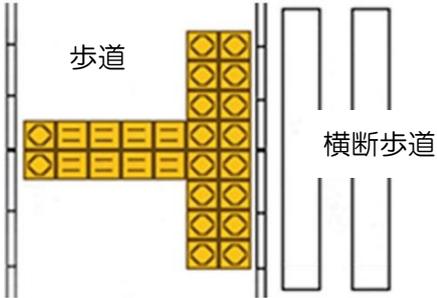
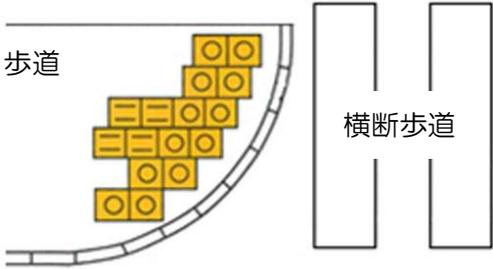
「B：歩道一般部及び車両乗入部における段差・勾配の改善」に係る整備対策案

対象項目	B-2（歩道全般）
対策案	<ul style="list-style-type: none"> 歩道内にある段差を解消し平坦にする。
イメージ	<div style="text-align: center;">  <p>段差</p> </div> <p style="text-align: center;">現 状 ※他地区の生活関連経路</p>
整備方法	<ul style="list-style-type: none"> 段差の解消 <div style="text-align: center;">  </div>

「B：歩道一般部及び車両乗入部における段差・勾配の改善」に係る整備対策案

対象項目	B-3（車両乗入部）※1
対策案	<ul style="list-style-type: none"> 歩道の車両乗入れ部分の私有地側に平坦部※2を1.0m以上確保（すりつけ横断勾配は15%以下） <p>※1 B-3は、B-1歩道全般の整備で、勾配の改善が困難な車両乗入部に適用する。 ※2 透水性舗装の場合は横断勾配1%以下、非透水性舗装の場合は横断勾配2%</p>
イメージ	 <p style="text-align: center;">現 状</p> <p style="text-align: center;">整備イメージ</p> <p style="text-align: right;">※他地区の生活関連経路</p>
整備方法	<p>【段差 5cm の縁石の場合】</p>  <p>【特殊縁石の場合】</p> 

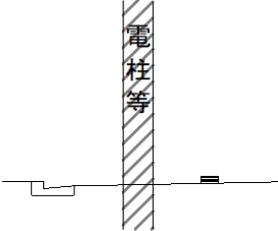
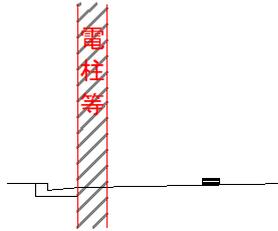
「C：視覚障害者誘導用ブロックの敷設」に係る整備対策案

対象項目	C	
対策案	・視覚障害者誘導用ブロックの設置及び改良	
イメージ	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  →  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> 現 状 整備イメージ </div>	
標準的な考え方	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【横断歩道口誘導ブロックの敷設例】</p>  </div> <div style="width: 45%;"> <p>【歩道巻き込み部誘導ブロックの敷設例】</p>  </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">注) 横断歩道の有無にかかわらず歩道巻き込み部には視覚障害者誘導用ブロックを敷設</p>	

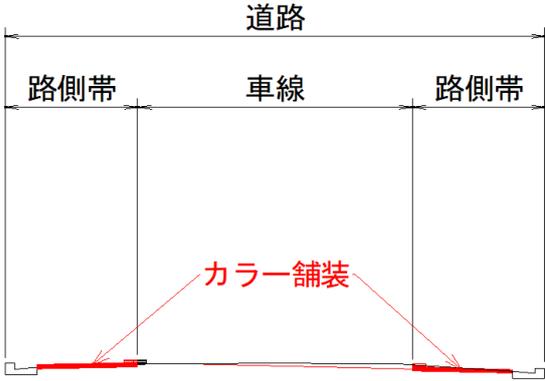
「D：歩行空間の有効幅員の確保」に係る整備対策案

対象項目	D-1
対策案	<ul style="list-style-type: none"> 安全走行ができる車道幅員を考慮したうえで、歩道の有効幅員（2.0m・3.5m※1）を確保する。 <p>※1 有効幅員 3.5mは歩行者交通量 1,000 人/日以上の場合。ただし、地形上やむを得ない場合を除く。</p>
イメージ	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>現 状</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>整備イメージ</p> </div> </div> <p style="text-align: right;">※他地区の生活関連経路</p>
整備方法	<ul style="list-style-type: none"> 歩道拡幅  <p>※1 有効幅員 3.5mは歩行者交通量 1,000 人/日以上の場合。ただし、地形上やむを得ない場合を除く。</p>

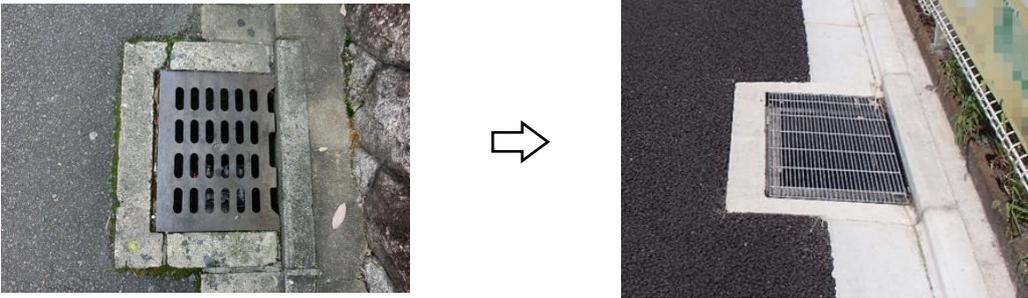
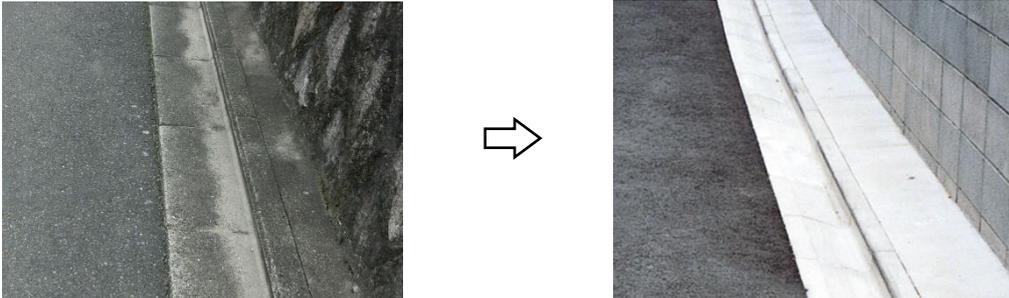
「D：歩行空間の有効幅員の確保」に係る整備対策案

対象項目	D-2
対策案	<ul style="list-style-type: none"> 支障物（電柱、標識柱等）の撤去及び移設の検討 <p>※ 支障物管理者と協議・調整を行い、可能な限り検討する。</p>
イメージ	<div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>電柱等</p> <p>現 状</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>電柱等</p> <p>整備イメージ</p> </div>

「E：歩道のない道路における歩行空間の明確化」に係る整備対策案

対象項目	E
対策案	<ul style="list-style-type: none"> 路面標示（路側帯）の設置及び幅員変更 路側帯にカラー舗装等を施し，歩行空間の明確化を図る。
イメージ	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>現 状</p> </div> <div style="font-size: 2em;">➔</div> <div style="text-align: center;">  <p>整備イメージ</p> </div> </div>
整備方法	<ul style="list-style-type: none"> 路側帯のカラー舗装 <div style="text-align: center;">  </div>

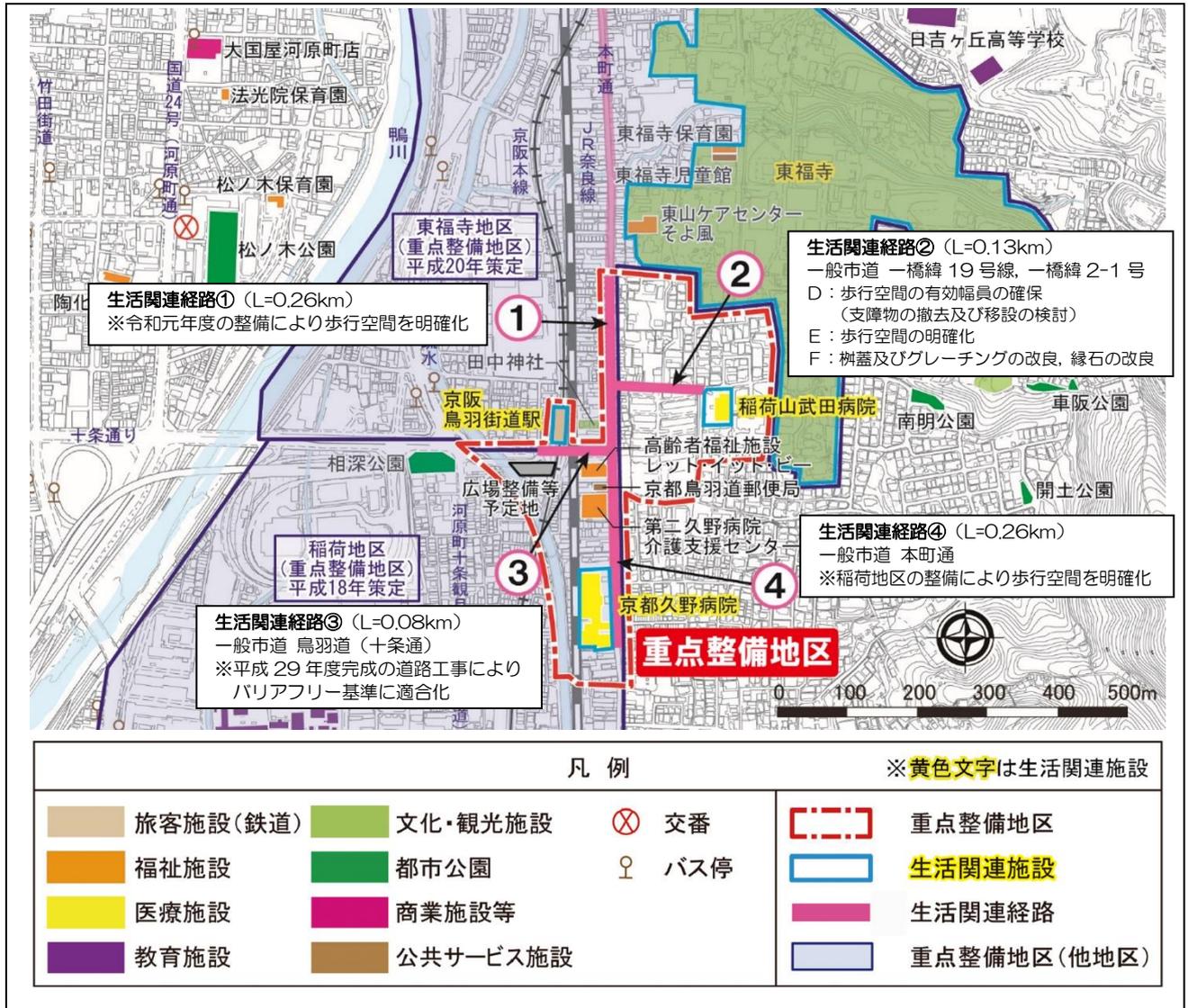
「F：歩行者の移動に影響を与えている柵蓋やグレーチング及び縁石等の道路附属物の改良」に係る整備対策案

対象項目	F
対策案	<ul style="list-style-type: none"> ・ガタついた側溝蓋の改良及び暗渠化 ・粗目のグレーチングを細目のグレーチング等へ改良 ・老朽化した縁石の改良
イメージ	<div style="text-align: center;"> <p>細目グレーチング</p>  <p>The image shows two side-by-side photographs of drainage grates. The left photo shows a coarse grate with large rectangular openings. The right photo shows a fine grate with much smaller, more uniform openings. A white arrow points from the coarse grate to the fine grate.</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>縁石</p>  <p>The image shows two side-by-side photographs of concrete curbs. The left photo shows a weathered, uneven curb with some staining. The right photo shows a newer, smoother, and more uniform curb. A white arrow points from the old curb to the new curb.</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>現 状</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>整備イメージ</p> </div> </div>

2.2 路線別の事業計画

(1) 対象路線位置及び事業の内容

東福寺地区（鳥羽街道エリア）道路特定事業の対象路線の位置と事業計画の内容を図で示します。



(2) 生活関連経路の総括表

経路 番号	路線名	対策案	経路・区間	経路延長 (km)	備考
①	一般市道 本町通	-	東福寺南大門付近 ～ 一般市道 鳥羽道 (十条通)	0.26	令和元年度の整備により 歩行空間を明確化 (整備済み)
②	一般市道 一橋緯 19号線 一般市道 一橋緯 2-1号線	D, E, F	一般市道 本町通 ～ 稲荷山武田病院	0.13	-
③	一般市道 鳥羽道 (十条通)	-	鳥羽街道駅前歩道西側 ～ 一般市道 本町通	0.08	平成 29 年度完成の 道路工事によりバリ アフリー基準に適合化 (整備済み)
④	一般市道 本町通	-	一般市道 鳥羽道 (十条通) ～ 京都久野病院	0.26	稲荷地区の整備により 歩行空間を明確化 (整備済み)

(3) 実施予定期間

残る 1 経路の生活関連経路②については、現在、実施されているライフライン更新工事に併せ、令和 2 年度末を目標に整備するよう努めてまいります。

(4) 路線別事業計画

各路線の概要（路線名，事業区間，延長），平面図，横断面図，事業内容，事業量，事業実施に際し配慮すべき重要事項及び現況写真を示します。

経路番号／延長 路線名 事業区間 所在地	生活関連経路② / 0.13 km 一般市道 一橋緯 19号線，一橋緯 2-1号線 一般市道 本町通～ 稲荷山武田病院 東山区本町 ～ 伏見区深草正党町	
平面図		
現況断面図		
事業内容 (対策案)	事業量 (延長／箇所数)	
D：歩行空間の有効幅員の確保（支障物の撤去及び移設の検討） E：歩行空間の明確化 F：樹蓋及びグレーチングの改良，縁石の改良	0.13 km	
事業実施に際し配慮すべき重要事項		
<ul style="list-style-type: none"> 歩行空間の明確化の際には，段差・勾配の改善も行う。 段差・勾配の改善は，地域住民と調整を行いながら進める。 歩行空間の明確化に当たっては，公安委員会と路面標示や幅員構成について協議を行うとともに，地域住民との合意形成を図る。 路側帯の一部が広がる箇所については，駐車対策の検討を行う。 		
現況写真	A-A' 	

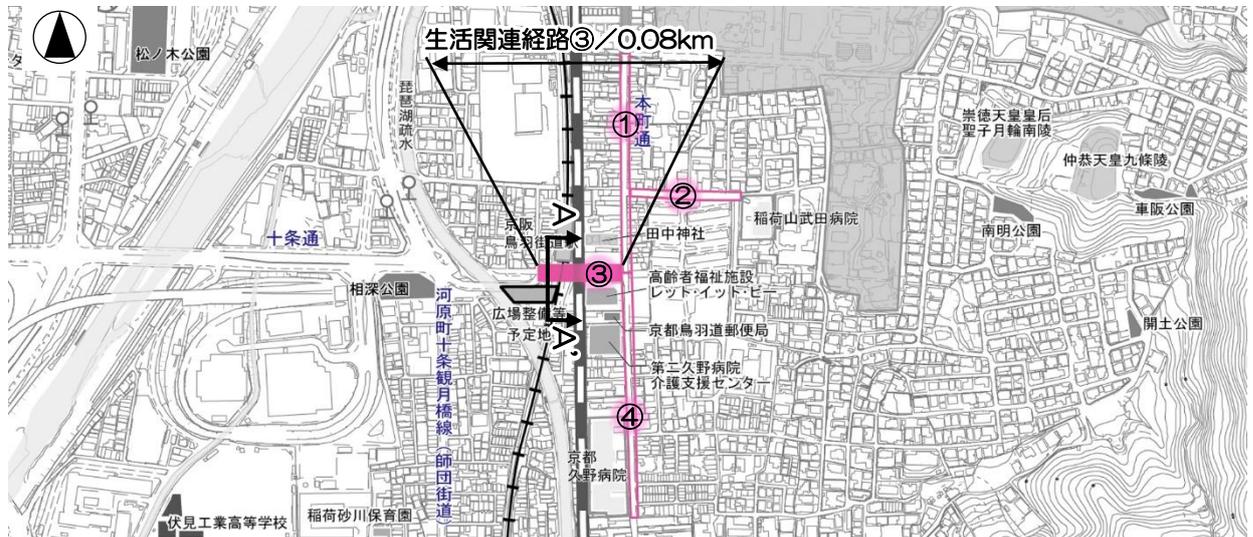
(5) 整備済み路線

各路線の概要（路線名、事業区間、延長）、平面図、横断面図、事業内容、事業量、及び写真を示します。

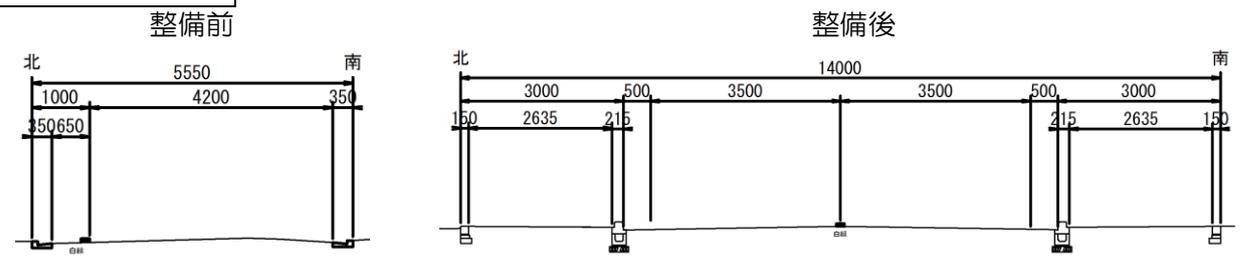
経路番号／延長 路線名 事業区間 所在地	生活関連経路① / 0.26 km 一般市道 本町通 東福寺南大門付近 ~ 一般市道 鳥羽道（十条通） 東山区本町 ~ 東山区本町		
平面図			
現況断面図	整備前	A-A'	整備後
事業内容			事業量 （延長／箇所数）
D：歩行空間の有効幅員の確保（支障物の撤去及び移設の検討） E：歩行空間の明確化 F：樹蓋及びグレーチングの改良，縁石の改良			0.26 km
現況写真	整備前	A-A'	整備後

経路番号／延長 路線名 事業区間 所在地	生活関連経路③ / 0.08 km 一般市道 鳥羽道 (十条通) 鳥羽街道駅前歩道西側 ~ 一般市道 本町通 東山区福稲下高松町 ~ 東山区本町
-------------------------------	---

平面図



現況断面図

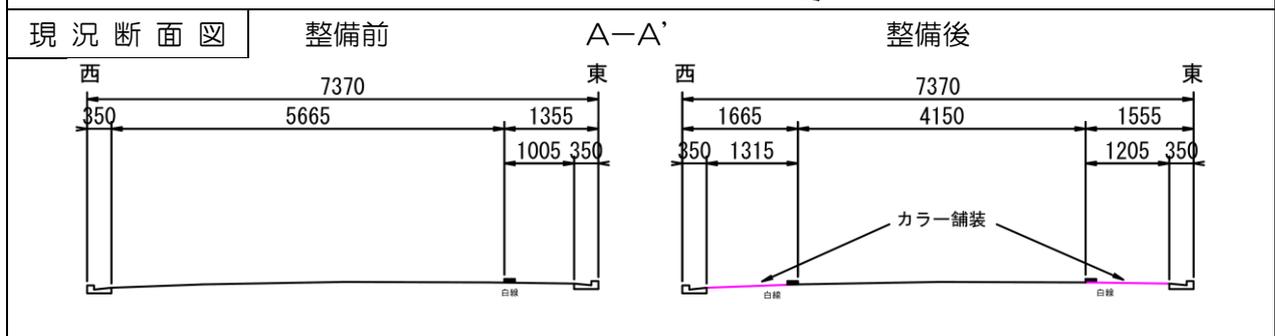
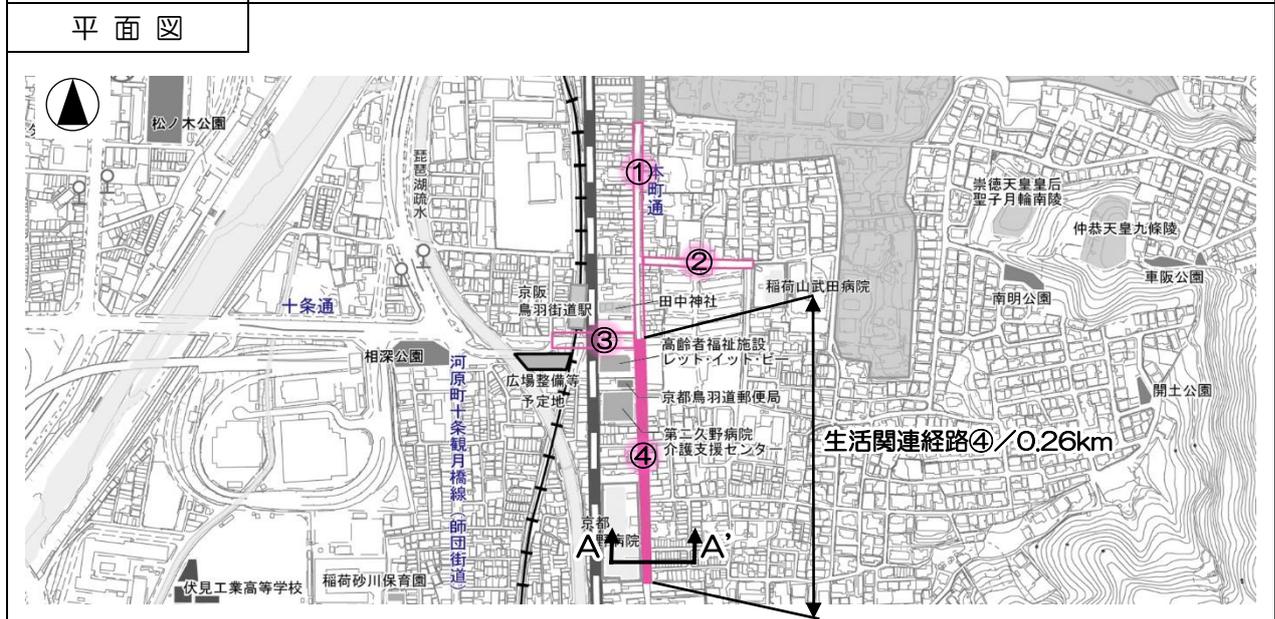


事業内容	事業量 (延長/箇所数)
A: 横断歩道接続部等における段差・勾配の改善 B: 歩道一般部及び車両乗入部における段差・勾配の改善 C: 視覚障害者誘導用ブロックの敷設 D: 歩行空間の有効幅員の確保 (歩道の拡幅, 支障物の撤去及び移設の検討) F: 樹蓋及びグレーチングの改良, 縁石の改良	0.08km

現況写真



経路番号／延長 路線名 事業区間 所在地	生活関連経路④ / 0.26 km 一般市道 本町通 一般市道鳥羽道（十条通）～ 京都久野病院 東山区本町～ 東山区本町
-------------------------------	---



事業内容	事業量 (延長／箇所数)
D: 歩行空間の有効幅員の確保 (支障物の撤去及び移設の検討) E: 歩行空間の明確化 F: 樹蓋及びグレーチングの改良, 縁石の改良	0.26 km

